

平成 28 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団決算書
(抜粋)

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

	ページ
・ 事業報告書	1
・ 決算報告書	13

事業報告書

目 次

	ページ
I 概 況	
1 総括事項	3
II 業 務	
1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）	
（1）文化財発掘調査	4
（2）埋蔵文化財啓発活動	4
2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）	
（1）いわき市アンモナイトセンター	4
（2）いわき市考古資料館	5
（3）いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家	5
（4）いわき市暮らしの伝承郷	6
（5）いわき市生涯学習プラザ	7
（6）福島県いわき海浜自然の家	8
（7）いわき市勿来勤労青少年ホーム	8
3 管理部門（法人会計）	9
III 評議員会・理事会に関する事項	
1 評 議 員 会	10
2 理 事 会	10
3 役員等に関する事項	11
IV 職員に関する事項	
1 事 務 局	12
2 施 設	12

I 概 況

1 総括事項

平成28年度は、公益財団法人移行3年目、また、いわき市の市制施行50周年の年でもあったことから、今まで以上に本事業団の役割を認識し、市民協働による様々な事業を展開した。理事会4回、評議員会2回を開催し、公正・公平で透明な事業運営に努めた。

東日本大震災から6年目を迎え、復旧から復興へと変化する中、埋蔵文化財の発掘調査事業(公益目的事業1)と教育文化、生涯学習施設の管理運営事業(公益目的事業2)を中心として、本事業団の専門性を生かし、市・県民の心の支えになるよう職員一丸となって取り組んだ。

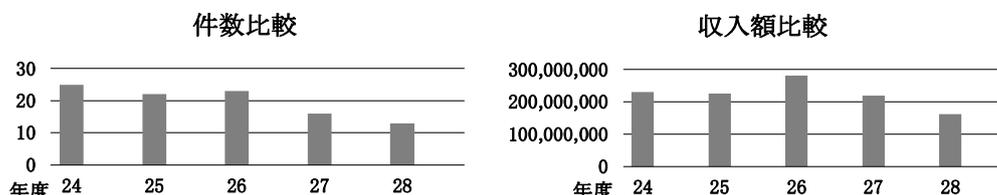
文化財部門においては、市内の発掘調査事業が減少し、市関連の調査事業に加えて、双葉郡内などの市外の震災復興関連の事業を受託した。事業量は前年度より3件減の13件の事業となり、収入額は、決算額対比で昨年度より約5,750万円少ない約16,200万円となった(下表)。

施設部門は、アンモナイトセンター・考古資料館・草野心平記念文学館及び生家・暮らしの伝承郷・生涯学習プラザ・海浜自然の家・勿来勤労青少年ホームの8施設の指定管理業務を継続して受託している。考古資料館・草野心平記念文学館・暮らしの伝承郷では、いわき市市制施行50周年記念事業の展示会を開催した。

平成27年度に引き続き、安定的な収入源の確保と経費節減により、約213万円の黒字決算となった。

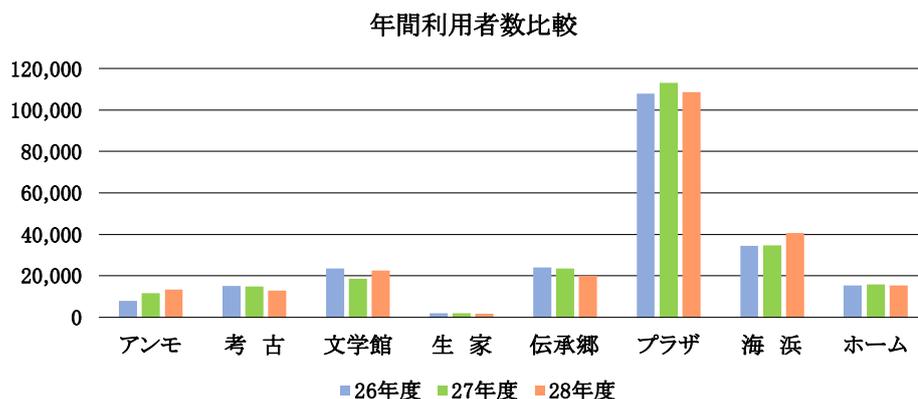
○ 発掘調査事業契約件数と収入額の年度別比較 (24～28年度)

年度	24	25	26	27	28
契約件数 (単位:件)	25	22	23	16	13
収入額 (単位:円)	230,799,600	226,446,000	281,235,210	219,915,000	162,388,800



○ 施設年間利用者数比較 (26・27・28年度) ※ ()内は指定管理受託前のもの

	アンモ	考古	文学館	生家	伝承郷	プラザ	海浜	ホーム
26年度	7,942	15,041	23,525	1,988	23,971	107,857	34,425	(15296)
27年度	11,638	14,907	18,512	1,864	23,431	113,194	34,687	15,749
28年度	13,319	12,932	22,469	1,573	19,941	108,664	40,566	15,242



II 業 務

1 文化財部門

(1) 文化財発掘調査

平成28年度に受託した事業は13件であり、事業内訳は、いわき市内が8件（発掘調査1件、試掘調査1件、資料整理・報告書作成6件）、市外が5件（矢祭町の発掘調査1件、檜葉町の発掘調査・資料整理各1件、広野町の報告書作成刊行1件、浪江町の資料整理1件）である。

発掘調査等における主な成果として、矢祭町の我満平遺跡では縄文時代と平安時代の集落が検出され、遺物が数多く出土した。檜葉町の高橋遺跡（第2次調査）では、平成27年度の第1次調査で検出された縄文時代と古代の集落が北側に続くことが確認された。また、市内では前方後円墳と考えられている塚前古墳で後円部の周溝が検出され、推定直径が50mとなる大型の古墳であることが判明した。また、墳丘の築造方法や埴輪などから畿内の影響が推察されていることが特筆される。

埋蔵文化財調査報告は概報を含め5冊を刊行した。

(2) 埋蔵文化財啓発活動

ア 現地説明会の開催

実施月日	実施項目	内 容
平成28年8月6日(土)	「高橋遺跡（第2次調査）」現地説明会	檜葉町教育委員会主催。参加者45名。 「文化財ニュースいわき」第79号を発行し参加者に配布した。
平成28年11月27日(日)	「我満平遺跡」現地説明会	矢祭町教育委員会主催。参加者50名。 「我満平遺跡発掘調査説明資料」を作成し参加者に配布した。

イ 企画展共催

実施月日	実施項目	内 容
平成28年6月22日(水)～ 同 8月15日(月)	「平成27年度発掘速報展」	考古資料館との共催。18遺跡21件の成果を一般に公開。入館者1,766名。
関連事業 平成28年7月9日(土)	「遺跡報告会」	各遺跡の調査成果について、発掘調査を担当した職員が報告した。参加者28名。

ウ 頒布図書

調査報告書2冊を増刷し、市民・研究者等に頒布した。内訳は、『神谷作古墳群』100冊、『塚前古墳』50冊。

2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

(1) いわき市アンモナイトセンター

平成28年度における入館者総数は、前年度比1,681名増（前年度比114.4%）となる13,319名であった。この増分は体験発掘への参加者増でほぼ占められるが、今年度の特筆すべき点としては小学校等による特別体験発掘での利用増が挙げられる。市内小学校

の利用に限ると昨年度の3校から6校に増加していることから、東日本大震災後の原発事故による風評被害や野外活動への抵抗感が払拭されつつあることが推測される。第1～第2四半期の利用者数が好調に推移する一方、晩秋～冬季（第3四半期後半～第4四半期）の利用者数が伸び悩むのが例年の傾向であり、同時期における利用者増に向けた新たな試みが課題として挙げられる。

小・中学校の夏休み／冬休み期間をターゲットとして開催した企画展における入館者数は、夏休み企画展で3,908名（前年度比1,163名増）、冬休み企画展で804名（前年度比72名減）となった。企画展会期中に実施したミニ発掘（夏休み：三葉虫化石、冬休み：キラキラ鉱物、いずれも外国産）は、取り出した本物の標本を持ち帰ることができることもあり、これらを目的として来館する利用者も多く、会期中の入館者数増に大きく貢献した。

さらに、地元である久之浜・大久地区との連携事業としての「化石講演会」、啓蒙普及事業としての「親子自然探訪教室」や「出前講座」を実施したほか、行政視察等の受け入れにも対応した。

(2) いわき市考古資料館

平成28年度は、利用者総数が12,932名で昨年度比1,975名減と大幅な減少になった。内訳を見ると、入館者数は10,942名で昨年度比1,179名減、出前講座などの館外利用者数は1,990名で昨年度比796名減であった。また、団体入館者は、52件1,609名で昨年度比21件・530名の減となった。利用者数の大幅減の要因として、4・5月に企画展を開催できなかったこと、出前講座の件数が減少したこと、市外からの団体入館者の減少などがあげられる。

企画展は、通常の企画展3回とミニ企画展1回、特集展示1回の計5回開催した。

講座・講演会は、「いわきの考古学講座」全6回、「自由研究に挑戦しよう!!」、「ボランティア養成座」及び企画展に合わせた講演会や解説会、探訪会など計14回開催した。

体験学習会は、「ゴールデンウィーク体験学習会」、「夏休み体験学習会」、「いわきキッズミュージアム2016」、「古代まつり」、「勾玉づくり体験会」、そして、新たに「バレンタインディー特別体験学習会」など6体験会23日間開催した。今年度からゴールデンウィーク期間中の休日にも「勾玉づくり体験会」を開催し、来館者の要望に応えた。

収蔵資料の調査研究や資料の貸出、鑑定や問合せなどへの対応も当館の重要な業務のひとつであり、市民及び研究者や学生、そして博物館などの要請に対応した。また、8月には学芸員実習を実施した。

このほか、経年劣化が原因の雨漏りや設備の故障などが頻発しており、所管課と協議の上、可能なものについては随時修理・修繕を行い、施設の維持・管理に努めてきた。新たに、空調機器付の木製品・金属製品収蔵室を完備した藤原収蔵庫が完成し、劣化が懸念されていた木製品・金属製品を収納した。また、接遇の向上に努めるとともに、ホームページ内容の充実に努めた。

(3) いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

いわき市立草野心平記念文学館

年間入館者は22,469名で、昨年比3,957名の増となり、年間開館日数は312日間だった。

平成28年度は、春、夏・秋、冬と3つの企画展を開催した。

春の企画展「草野心平の詩 青春無頼編」は、昨年度の「草野心平の詩 視覚詩編」に引き続き、心平の作品を新たな切り口で展覧することを目的に開催した。心平が過ごした「青春無頼」な日々の中で手がけた随筆や当時の詩、さらに交友関係を取り上げ、自筆原稿、書籍、雑誌などを展覧し、誰もが経験する青春時代に視点をあて、等身大の

詩人の魅力を広く紹介することにつながった。

夏・秋の企画展「寂聴 愛のことば展」は、愛という主題によって貫かれている瀬戸内寂聴の作品から、前期「若い人に」「恋愛」「生きる（前編）」、後期「書く」「出家」「詩」「生きる（後編）」の2部に分けて「愛」にちなんだことばを紹介するとともに、関連する自筆原稿、書簡、雑誌、書籍、心平との交友を示す資料などを展覧した。深い洞察による愛のことばによって、愛すること、そして生きることの意味をあらためて考える機会になった。

冬の企画展「忍たま乱太郎ミュージアム」は、いわき市市制施行50周年を記念して行われたいわきサンシャイン博事業の一環として取り組んだ。1993年の放送開始以来、24シリーズを数える人気アニメーションの絵本原画や作者尼子騷兵衛の貴重な忍者コレクションなどを展示したほか、顔認証ゲームやなりきり体験コーナー、ラミネートカードやモバイルなどのワークショップコーナーを設置し、親子で楽しめる企画展を開催した。会期中の入館者は8,423名であり、北海道や秋田県、静岡県など県外からの来館者も多く見受けられ、サンシャイン博事業の目的のとおり、文学館の魅力や明るく元気な本市の姿を市内外に発信することができた。

スポット展示は、「猪狩満直」「草野心平の恋愛詩」「吉野せい」「草野天平」を開催し、心平の創作活動の一面やいわきゆかりの文学者、資料を紹介した。

普及活動では、夜間開館時や週末を中心に演奏会などを開催し、文学や芸術にふれる場を提供した。あわせて、絵本を読み聞かせるおはなし会を開催し、子どもたちが絵本などに接することで、物語の楽しさに親しむきっかけになることを目指した。また、夏の企画展会期中に開催した「アクアマリンふくしま移動水族館」では、小川地区の団体と連携して地場産品や軽食を販売するなど、企画展にあわせ親子で終日楽しめる催しを開催した。さらに小川中学校吹奏楽部による演奏会など、文学館が立地する小川町住民との連携を図った。

いわき市草野心平生家

平成28年度の入館者数は1,573名で、昨年比291名の減であった。年間開館日数は、312日間だった。

通常の開館時はボランティアの会員が心平と故郷のかかわりを解説しつつ、温かく来館者に接している。

催しは、春の「心平誕生日の市民朗読会」で小川小学校、小川中学校の児童、生徒の参加が定着し、秋の「心平忌・心平を語る会」とあわせて心平を顕彰する機会になっている。さらに、親子連れなどが楽しく参加するワークショップ「カエルの折り紙をつくらう」、心平の弟天平を偲ぶ「草野天平の集い」など、心平と故郷とのつながりに関心を持つきっかけとなる催しを展開した。

(4) いわき市暮らしの伝承郷

平成28年度の入園者数は、前年度比3,490名減の19,941名である。平成28年度は、特に市民展の利用促進に力を入れ利用者数の拡大に努めたが、結果として前年度比約14.9%減となった。

伝承郷の中心的事業である景観復元・伝承・管理作業は、平成11年の開園以来、昔の暮らしぶりそのものの景観復元と伝承をコンセプトに実施しているところである。平成28年度も畑作・里山作り・庭木の手入れ、落ち葉掻き、古民家の日常的な雨戸の開閉、清掃、囲炉裏火焚き・薪作り、梅干し・干し柿作り、大根・唐辛子・ニンニク干しなど幅広い項目について実施した。その方法や扱う道具についても、古民家同様園内展示の一環として位置付け、極力昔の方法・道具を取り入れながら実施した。

展示会は、企画展が第1回「端午の節句ー伝承郷収蔵品展ー」、第2回「いわき民俗学の先達者展」、第3回「写真で見るといわきの年中行事展」、特別展が「『超高速！参勤

交代「リターンズ』ロケ展」と合計4回開催し、これらの企画展関連事業として、それぞれ展示解説や関連講座などを開催した。

体験学習は、「民話の語り①～⑥」など申込不要で気軽に参加できるもの、「ヤマブドウの携帯ケース作り」や「竹かご作り①・②」など技術を要するもの、そして昔から行われてきた「正月飾り作り①・②」・「餅花作り」など、子どもから大人までの幅広い年齢層を対象に企画し、計25回を実施した。さらに、学校などの要望に応じて「昔遊び体験」や古民家での「昔掃除体験」・「餅つき体験」など、学社連携事業を随時実施し、利用者から好評を得た。また、いわき昔野菜保存会との共催により、昔野菜ユウガオを使った「かんぴょう作り体験」も開講した。

伝承郷講座は、第2回企画展「いわき民俗学の先達者展」にちなみ、「諸根樟一と郷土学について」「和田文夫の足跡をたどって」など全4回で実施した。

年中行事では、「井戸払い」・「盆棚飾り」・「エビスコ」・「こと八日」・「農立て」・「正月飾り」など、年間を通して計23回の伝統行事を古式に則り再現展示した。

伝統芸能実演は、市内の伝統芸能「じゃんがら念仏踊」を三和町沢渡青年会、「三匹獅子」を平下高久区、また、「会津万歳」を南会津町安佐野万歳保存会会津支部に依頼し、それぞれ実演してその鑑賞を行うと同時に伝統芸能の継承と伝承を図った。

小学生を対象とした「キッズ民話語り部教室」は、子どもの民話語り部の養成講座であり、平成28年度で第23回を迎えた。対象の小学生に加え、過去の経験者（中学生・大学生）の参加も見られた。

市民の文化活動発表の場として定着した企画展示室のサークル・団体への貸出は、通算11団体であり昨年度の11団体と同数の利用であった。

その他、ガイドボランティアなどを対象としたボランティア研修会の開催、団体や個人による篠笛や箏・三絃・尺八・ハーモニカ・フルート・ギターなどの演奏会、民俗・歴史に関するレファレンス事業や寄贈民具の調査・収集・登録なども実施した。

(5) いわき市生涯学習プラザ

平成28年度の施設利用者は108,664名で、前年度より4,530名の減となった。施設使用許可申請件数は、114件減の2,793件であった。このうち社会教育関係団体の申請件数は、95件減の1,874件で、社会教育関係団体の利用低迷が、全体の利用を引き下げる結果となった。

市民講座は65の講座を開催した。そのうち、ボランティア活用事業として、子育て支援ボランティアによる「絵本と紙しばいの読み聞かせ」「子どもと遊ぼう」やITボランティアリーダーによるパソコン講座を毎月開催し、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対応した講座を提供した。さらに、サークル・団体が実施するサークル企画講座では、「朗読教室」「歌唱法講座」「絵手紙講座」「小中学生プログラミング体験教室」などを開催した。

全市的な事業として広く市民に浸透している「いわきヒューマンカレッジ(市民大学)」は、481名の入学生を迎え、4学部（健康福祉学部・障害学学部・環境再生学部・いわき学部）を開設した。特に、健康福祉学部では200名を超える受講者があり、市民の学習ニーズにあった講座を開催できた。

また、12回目となる「生涯学習フェスティバル」は、前年度より226名増の3,604名の入館者があった。オープニングセレモニーの高坂小学校合唱部の演奏や生涯学習いろいろ体験コーナー、プラザ利用団体の各種展示や発表など、多くの市民へ学習の場・交流の場を提供することができた。また、いわき市市制施行50周年記念事業として、写真展「写真でたどる本町通り」を開催し好評を博した。

いわきヒューマンカレッジ、プラザ市民講座や生涯学習フェスティバルの開催にあた

っては、これまで同様、いわき市生涯学習支援ボランティアの会の支援があり、円滑に運営することができた。

これらの事業展開にあたっては、ホームページや「広報いわき」のほかに、講座ごとに案内チラシで情報提供を行うとともに、利用者懇談会やアンケート調査でモニタリングを重ね、市民目線に立った効率的な管理運営に努めた。

(6) 福島県いわき海浜自然の家

平成28年度の利用状況は、543団体延べ40,566名を数え、震災前の平成22年度（546団体66,611名）に比して60%であった。社会教育団体の利用増の一方で、学校教育団体については153団体延べ12,778名（平成22年度は342団体、延べ50,576名）と平成22年度の25%にとどまったが、総延べ人数では昨年度を5,879名上回っており、平成22年度の数値に少しずつ近づいている。

企画事業は、春・秋のオープンデーなど施設の一般開放によって、当施設を広く県民に周知するとともに、秋と冬には利用者のニーズに合わせた新たな企画事業を開催するなど、さまざまな企画事業をとおして当施設の理解を深めることができた。さらに、閑散期の利用促進として、「森の音楽会」や「クラフトのつどい」などを実施し好評を博した。

これら各種事業においては、広報チラシ・ポスターの配付をはじめ、四倉と久之浜・大久地区には回覧板を活用した。さらに、ホームページには事業案内及び実績報告等を随時掲載して広く県民への周知を図った。

なお、所内の各種研修や報告会のほか、所外の様々な研修によって職員の資質向上に努め、県民に愛され親しまれる施設づくりに努めた。

(7) いわき市勿来勤労青少年ホーム

平成28年度は、市から指定管理者として、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間受託した2年目である。利用者数は15,242名で、過去10年間で最多利用者数となった前年度に比べて507名、約3%の減少となった。一般利用者は388名、約7%増加しているものの、講座・サークル団体は受講者の減少や団体の廃止等により、1,131名、約13%減少した。

教養講座は、年間講座14講座、短期講座5講座の合計19講座を実施した。新規講座としては、「パパ・ママ世代のゆったりストレッチ講座」や「プリザーブドフラワー講座」を開催するなど、市民のニーズに合った講座を提供した。受講者総数は1,524名で、前年度に比べて155名の減少であったが、エクササイズを兼ねた「ヨガ」「バランスボール・ピラティス」の講座が女性に人気があり好評であった。

サークル活動総数は、7,261名であり、前年度に比べて889名減少したが、ダンスや卓球・テニスなど、趣味を共有しながら年間を通して実施した。

年1回のスポーツイベントである福島県勤労青少年ホーム交歓会は、いわき市立総合体育館で開催され、127名の県内会員と情報共有しながら親睦を深めることができた。

勤労青少年の日記念事業である「勿来ホーム祭」は、早朝から多くの市民が来館し、成果発表や作品展示などを楽しみながら参加することができ、好評を博した。特に、バザーや料理・パンなどの食材コーナーは人気があり、子供から高齢者まで人気が高かった。

これらの各事業においては、ホームページや広報誌をはじめ、各講座の案内を通して、最新情報の提供を行うとともに、運営委員会の意見などを反映しながら、市民サービスを最優先として効果的な管理運営に努めた。

3 管 理 部 門 （ 法 人 会 計 ）

(1) 業務執行体制等について

体制強化策の一つとして、組織の年齢構成等のバランスと健全な事業運営を図るため、平成28年4月1日付けで、専門職2名（文化財担当・古生物担当）と事務職2名（大卒1名、高卒以上1名）の新規職員4名を採用しました。

また、公益財団法人移行に伴う事務量の増大から事務局体制を1名増員しました。さらに、施設長会議・事務担当者会議を定期的に関き、示達及び事務連絡等、円滑な運営に努めています。

(2) 情報開示について

本事業団のホームページに指定管理受託施設のトピックス、「文化財ニュース」の刊行、「出前講座」の募集と実績等の詳細な情報を提供することができました。

さらに、平成26・27年度の「年報」を発行（平成28年11月29日刊行）し、関係機関等に配布しております。

(3) 研修等について

新規採用職員の研修を2期に分けて実施しました。1期は、いわき海浜自然の家を会場に、2泊3日（4月26～28日）で行いました。内容は、事業団の諸規定や社会人としてのマナー、公文書の作成、各施設の現地研修などです。2期は、考古資料館を会場に、6月15日に安全衛生関係について行いました。

また、業務及び安全衛生関係研修等のほかに、職員の資質向上のための自主研修制度があり、6名が計画し、5名が実施しました。

(4) 啓発・広報等について

自主事業として、たからものずかん4「いわきの縄文時代Ⅱ－暮らし編」を3千部発行し、各施設に配布するとともに出前講座等での使用を想定しています。また、たからものずかん5「(仮称)いわきの文学」の原稿作成・編集作業を行いました。

本事業団職員が有する専門知識を生かした出前講座は、21団体（小学校2校、中学校5校、高等学校1校、支所・公民館等13館）計48回の講座を実施し、延べ1,401名が受講し、大好評を得ました。今後とも、事業団が有する専門性を生かし、さまざまな分野について市民に還元していきたいと考えています。

さらに、職員の資質向上と調査研究の成果を市民に還元するために、「研究紀要」第14号を刊行しました。内容は、展示会関連資料の紹介1件、発掘調査成果に関する論考1件です。

(5) 「みんなで学ぼういわきの歴史」制作業務委託について

いわき市から市制50周年記念の事業の一つとして、標記図書の改訂版の制作委託を受け、新規の原稿作成後、編集作業を行い、市に提出しました。また、事業団で増刷を行い、普及活用事業や出前講座等のテキストとしての活用を想定しています。

Ⅲ 評議員会・理事会に関する事項

1 評議員会

	議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
第1回	第1号	評議員の選任について	平成28年4月13日	平成28年4月13日
第2回	第1号 第2号 第3号	平成27年度決算の承認について 理事の選任について 監事の選任について	平成28年6月27日	平成28年6月27日

2 理事会

	議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
第1回	第1号 第2号	平成27年度決算の承認について 平成28年度定時評議員会の招集について	平成28年5月26日	平成28年5月26日
第2回	第1号	公益財団法人いわき市教育文化事業団理事長、副理事長及び常務理事の選定について	平成28年6月27日	平成28年6月27日
第3回	第1号	給与等に関する規程及び定年退職者の再雇用に関する規程の改正について	平成28年12月21日	平成28年12月21日
第4回	第1号 第2号 第3号	給与等に関する規程改正について 平成29年度事業計画及び収支予算について 平成29年度臨時評議員会の招集について	平成29年3月24日	平成29年3月24日

3 役員等に関する事項

評議員 7名、理事 8名、監事 3名

区分	年月日	役職名・氏名	備考
就任	平成28年4月13日	評議員 大和田 洋	
重任	平成28年6月27日	理事長 上遠野洋一 副理事長 吉田 尚 常務理事 渡辺 紀夫 理事 馬目 順一 理事 松本 武雄 理事 草野チエ子 理事 神山 敬章 理事 鮫島 和弘 監事 伊藤 章司 監事 青木喜三郎 監事 大森 馨	
辞任	平成29年3月31日	評議員 増子 裕昭 評議員 大和田 洋 監事 大森 馨	

IV 職員に関する事項

平成29年3月31日現在

1 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

区分	事務局長 同相当職	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託 職員	日々雇用 職員	計
事務局	2	2	—	—	—	—	—	4
企画管理係	—	1	—	—	2	—	1	4
調査第一係	—	1	—	—	3	—	—	4
調査第二係	—	—	2	—	1	—	13	16
計	2	4	2	0	6	0	14	28

2 施設

区分	館長 所長 副館長	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託 職員	日々雇用 職員	計
アンモナイト センター	1	—	1	—	—	1	1	4
考古資料館	(1)	(1)	—	—	(2)	—	2	2 (4)
文学館	2	1	2	—	—	—	3	8
伝承郷	1	—	—	—	2	—	4	7
生涯学習 プラザ	1	1	1	1	1	—	6	11
いわき海浜 自然の家	1	1	1	2	2	3	7	17
勿来勤労 青少年ホーム	1	—	—	—	—	—	2	3
計	7 (1)	3 (1)	4	3	6 (2)	4	25	52 (4)

合計	9 (1)	7 (1)	6	3	12 (2)	4	39	80 (4)
----	----------	----------	---	---	-----------	---	----	-----------

決 算 報 告 書

目 次

	ページ
1 貸借対照表	15
2 正味財産増減計算書	16
3 財産目録	19
4 監査報告書	20

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	186,555,524	165,089,246	21,466,278
未収金	17,152,992	18,602,971	△1,449,979
前払金	362,283	0	362,283
立替金	167,902	0	167,902
仮払金	28,940	0	28,940
未経過通信運搬費	2,414	7,722	△5,308
未経過租税公課	1,000	1,000	0
流動資産合計	204,271,055	183,700,939	20,570,116
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	0	10,000,000
投資有価証券	0	10,000,000	△10,000,000
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) その他固定資産			
器具・備品	13	333,936	△333,923
電話加入権	9,000	449,904	△440,904
投資有価証券	10,000,720	10,006,060	△5,340
その他固定資産合計	10,009,733	10,789,900	△780,167
固定資産合計	20,009,733	20,789,900	△780,167
資産合計	224,280,788	204,490,839	19,789,949
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	72,145,547	58,117,237	14,028,310
未払消費税	3,398,200	7,171,300	△3,773,100
前受金	7,335,120	0	7,335,120
預り金	1,031,526	962,808	68,718
流動負債合計	83,910,393	66,251,345	17,659,048
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	83,910,393	66,251,345	17,659,048
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取出捐金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	130,370,395	128,239,494	2,130,901
正味財産合計	140,370,395	138,239,494	2,130,901
負債及び正味財産合計	224,280,788	204,490,839	19,789,949

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益 (A)	16,100	32,200	△16,100
基本財産受取利息	16,100	32,200	△16,100
② 事業収益 (B)	557,221,112	607,839,389	△50,618,277
文化財調査受託料	162,388,800	219,915,000	△57,526,200
施設指定管理料	380,656,960	376,832,160	3,824,800
1 市アンモナイトセンター	16,895,000	16,432,000	463,000
2 市考古資料館	13,001,000	12,901,000	100,000
3 市立草野心平記念文学館	67,906,000	67,794,000	112,000
4 市草野心平生家	3,151,000	3,151,000	0
5 市暮らしの伝承郷	40,450,000	40,450,000	0
6 市生涯学習プラザ	85,432,000	85,320,000	112,000
7 県いわき海浜自然の家(県)	141,038,000	138,470,000	2,568,000
8 市勿来勤労青少年ホーム	12,783,960	12,314,160	469,800
施設事業受託料	7,150,492	5,198,109	1,952,383
1 いわきヒューマンカレッジ	3,633,000	3,633,000	0
2 ふくしまっ子自然体験活動応援(県)	1,576,732	1,565,109	11,623
3 みんなで学ぼういわきの歴史	1,940,760	0	1,940,760
施設利用料	6,985,960	5,763,880	1,222,080
出版物頒布料	38,900	130,240	△91,340
③ 受取負担金 (C)	0	0	0
講師派遣料	0	0	0
④ 受取寄附金 (D)	0	0	0
寄附金	0	0	0
⑤ 雑収益 (E)	608,233	1,058,478	△450,245
受取利息	28,515	33,124	△4,609
雑収益	579,718	1,025,354	△445,636
経常収益計 (A~E)=(F)	557,845,445	608,930,067	△51,084,622
(2) 経常費用			
① 事業費 (G)	531,203,714	576,943,161	△45,739,447
給料手当	129,171,990	140,030,990	△10,859,000
賃金	125,481,384	157,019,826	△31,538,442
共済費	38,528,696	41,062,743	△2,534,047
報償費	6,410,848	5,807,452	603,396

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
旅費	5,568,283	4,556,751	1,011,532
消耗品費	15,242,640	14,011,484	1,231,156
被服費	274,672	331,959	△57,287
燃料費	6,153,685	6,549,964	△396,279
食糧費	386,885	354,553	32,332
印刷製本費	15,548,337	13,148,227	2,400,110
光熱水費	27,897,311	29,283,226	△1,385,915
修繕費	11,750,195	7,902,697	3,847,498
医薬材料費	72,646	36,832	35,814
通信運搬費	6,108,822	7,769,260	△1,660,438
広告料	316,902	360,102	△43,200
手数料	1,324,634	1,297,549	27,085
保険料	1,276,090	945,118	330,972
委託料	70,048,248	67,217,450	2,830,798
使用料及び賃借料	40,636,040	48,679,815	△8,043,775
工事請負費	612,737	1,278,147	△665,410
原材料費	763,846	700,105	63,741
負担金	317,510	399,000	△81,490
公租公課	23,843,253	27,536,686	△3,693,433
消耗什器備品費	3,318,408	342,900	2,975,508
減価償却費	149,652	320,325	△170,673
② 管理費	23,885,655	30,169,943	△6,284,288
報酬	273,900	215,800	58,100
給料手当	10,614,562	10,560,379	54,183
賃金	3,155,672	6,004,176	△2,848,504
共済費	3,030,594	3,455,158	△424,564
報償費	163,600	287,290	△123,690
旅費	90,569	424,000	△333,431
交際費	175,000	175,000	0
消耗品費	743,878	975,814	△231,936
燃料費	45,679	73,950	△28,271
食糧費	44,580	75,267	△30,687
印刷製本費	1,703,446	2,713,144	△1,009,698
光熱水費	93,917	149,658	△55,741
修繕費	10,800	41,040	△30,240
通信運搬費	330,906	279,112	51,794
広告料	0	32,400	△32,400
手数料	386,742	390,674	△3,932

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
保険料	52,570	56,960	△4,390
委託料	128,916	706,963	△578,047
使用料及び賃借料	1,006,417	1,078,893	△72,476
原材料費	0	0	0
負担金	339,550	396,221	△56,671
補償費	0	0	0
公租公課	1,494,357	1,623,364	△129,007
消耗什器備品費	0	454,680	△454,680
経常費用計 (G+H) = (I)	555,089,369	607,113,104	△52,023,735
当期経常増減額 (F-I) = (J)	2,756,076	1,816,963	939,113
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 (K)	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産減損損失			
器具備品除却損	184,271	0	184,271
電話加入権減損損失	440,904	0	440,904
経常外費用計 (L)	625,175	0	625,175
当期経常外増減額 (K-L) = (M)	△625,175	0	△625,175
当期一般正味財産増減額 (J+M) = (N)	2,130,901	1,816,963	313,938
一般正味財産期首残高 (O)	128,239,494	126,422,531	1,816,963
一般正味財産期末残高 (N+O) = (P)	130,370,395	128,239,494	2,130,901
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	16,100	32,200	△16,100
一般正味財産への振替額	△16,100	△32,200	16,100
当期指定正味財産増減額 (Q)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (R)	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高 (Q+R) = (S)	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高 (P+S)	140,370,395	138,239,494	2,130,901

財 産 目 録

平成29年 3 月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	事務局、施設 6 か所	手許保管	168,000
郵便振替	ゆうちょ銀行	運転資金	18,599
預金	普通預金		
	東邦銀行湯本支店	運転資金	144,191,949
	東邦銀行湯本支店	運転資金	0
	東邦銀行湯本支店	運転資金	0
	いわき信用組合湯本支店	運転資金	8,017,376
	いわき信用組合湯本支店	運転資金	3,975,948
	大東銀行湯本支店	運転資金	86,477
	福島銀行湯本支店	運転資金	97,175
	定期預金		
	東邦銀行湯本支店	運転資金	10,000,000
	大東銀行湯本支店	運転資金	10,000,000
	福島銀行湯本支店	運転資金	10,000,000
未収金	いわき市、矢祭町、福島県、民間業者	文化財調査受託料未収等	17,152,992
前払金	福島労働局	労働保険料確定過払額	362,283
立替金	いわき市	3 月分藤原収蔵庫電気料金	167,902
仮払金	草野心平記念文学館	H29. 4. 2-3出張旅費分前渡	28,940
未経過通信運搬費	切手	在庫	2,414
未経過租税公課	印紙	在庫	1,000
流動資産合計			204,271,055
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	いわき信用組合湯本支店	市出捐金	10,000,000
その他固定資産			
器具・備品	カメラ等	公 1 事業目的保有財産	13
電話加入権		公 1 ・法人会計事業目的保有財産	9,000
投資有価証券	第106回利付国債 5 年 大和証券いわき支店	運転資金運用	10,000,720
固定資産合計			20,009,733
資産合計			224,280,788
(流動負債)			
未払金	人件費 物件費	日々雇用職員 3 月分賃金等 業者に対する未払額	8,625,078 63,520,469
未払消費税	いわき税務署	28年度消費税	3,398,200
前受金	浪江町	文化財調査受託料前受額	7,335,120
預り金	所得税、市県民税、社会保険料等		1,031,526
流動負債合計			83,910,393
固定負債合計			0
負債合計			83,910,393
正味財産			140,370,395

監 査 報 告 書

公益財団法人いわき市教育文化事業団
理事長 上遠野 洋 一 様

平成 29 年 5 月 16 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団
監 事 伊 藤 章 司 ⑩

公益財団法人いわき市教育文化事業団
監 事 青 木 喜三郎 ⑩

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

業務の監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、事業報告及び理事の業務執行の妥当性を検討しました。

さらに、会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、法人の事業活動の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録は、法人の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上